



年頭のごあいさつ

越生町長

かつ ひろ
新井 雄 啓

新年明けましておめでとうございます。令和3年の新春をお健やかに迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、東京オリンピックの延期をはじめ、日本社会に対して様々な影響を及ぼしました。町も観光や飲食をはじめ経済に大きな打撃を受ました。そして、今もなお収束を見せる気配は無く、予断を許さない状況が続いております。

今後も感染症の拡大防止に努めてまいりますので、町民の皆さまにおかれましても、引き続き感染症対策にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

未だ先行きが見えない中、町の明るいニュースといたしましては、上谷の大クスが埼玉巨樹番付で最高位の東の「横綱」に見事選ばれました。ハイカーの目的地としてハイキングコースとなっており、本町が首都圏における「癒しの郷」としての魅力が、さらに充実をしていくと確信しております。

また、今年は沢村栄一が主人公のNHK大河ドラマ「青天を衝け」が放映されることもあり、越生ゆかり

の志士「沢村平九郎」が脚光を浴びることにより、町がクローズアップされることを期待しております。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症対策として越生町飲食店応援事業や、小規模事業者支援金給付事業などの町独自の経済的な支援事業を実施してまいりました。

教育関係では、ICTによる授業を推進し（GIGAスクール構想）、町内の小中学校に通う児童生徒全員分と教職員のタブレットパソコンを整備しました。また、越生小学校のトイレ大改修を行い、教育環境の充実を図りました。

観光振興としては、越生町すてきな交流拠点整備事業といたしまして、越生駅西口総合案内所「道灌おもてなしプラザ」の工事が完了し、1月から供用開始します。道灌おもてなしプラザでは、町の魅力ある事業、観光情報の提供及び芸術文化の向上並びに地場産業の振興に資する事業、また、役場の出張所的な役割をもたせ、住民票や可能な証明書等の発行業務なども行い、町民及び来訪者の利便性の向上を図ってまいります。

その他に、駅西口を「道灌口」、東口を「山吹口」という名称とし、西口

駅前ロータリーに文武両道の鑑と言われる太田道灌像を設置しました。また、タクシーやバスによる公共交通の利用助成を継続し、町民の生活道路等のインフラ整備を計画的に実施しました。

私は本年2月をもって任期満了を迎えますが、2期8年間にわたり町民の皆さま方には町政の推進に変わらぬご理解と多くのご協力をいただきましたことに心からお礼申し上げます。

住み続けたい、住んでみたいと思える定住性の高いまちづくり、若者の参画も含めた地域協働のまちづくり、それらを支える健全な財政運営など、持続可能なまちづくりの推進が必要です。職員一丸となって、知恵を出し合い、汗をかきながら、町政の発展に取り組んでまいりますので、引き続き温かいご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が幸多き一年となりますように心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



令和2年越生町観光 写真コンクール

一般社団法人越生町観光協会が主催する令和2年越生町観光写真コンクールの表彰式が10月24日に越生町観光案内所で行われました。今年は92点の応募の中から、13点が入賞しました。そのうちの推薦、特選、東武鉄道賞、審査員特別賞の6点を紹介します。

- ①推薦「元気で遊ぶ子供たち」
厚目 正さん（毛呂山町）
- ②特選「星に願う、世界平和を」
大谷木 春男さん（毛呂山町）
- ③特選「越生町からの眺望」
橋本 翔也さん（飯能市）
- ④東武鉄道賞「安心安全新人強化」
小林 真佐雄さん（坂戸市）
- ⑤東武鉄道賞「日回り出迎え」
須長 甲子男さん（鶴ヶ島市）
- ⑥審査員特別賞「大きな背中と小さな背中」
中島 玲奈さん（武蔵越生高等学校）



問
越生町観光協会
TEL 2921451

